

此實は同國鶴崎鶴崎は此岡より十三里にして海邊なりに出して、伊豫國宇和島に送り遣すなり、彼地當年不作にて、米穀すくなきによりて、かしこへ送らんとて、諸所を鶴崎へ出す、石數凡三千石に及べりといへる故、左ほどの玉蜀黍何れより作り出すと又問ければ、答て、是は此近在の至つて惡地にて、稗などさへ出來がたき土地より作りいだせりといふ、予永○大藏其とき思へらく、東國は土地廣く人すくなくして、手餘りの田畑ならびに田畑にもならぬほどの地多かるべし、是等の土地に作りて、飢饉の備へともなし、又常に製法して食とせば、大きに助となるべし、

〔重修本草綱目啓蒙十七〕玉蜀黍 ナンパン ナンパン ナンパン ナンパン ナンパン ナンパン ナンパン ナンパン ナンパン

同上 トウモロコシ 東國 ナンパン 備前 タカキビ 因州 コウライキビ 讚州 トウキ

比加州 ナンパン トウキビ 遠州 クハシキビ 越後 トウキミ 奥州 キミ 南部 ハチボ

ク勢州 マメキビ 越後 タマキビ 一名御麥群芳 番麥 同上 包子米盛京 玉米農政

玉麥 玉蜀黍共同 雞頭粟授時 珍珠粟 天方粟 西天麥 西番麥 乳粟 遇粟共同

苗ハトウキビニ似テ短シ、夏葉間ゴトニ苞ヲ生ジ、上ニ紅絲アリ、實熟シテ苞ヲ開ケバ、櫻魚ノ如クニシテ大ナリ、粒赤キ者アリ、糯ナリ、孛ハセトナシテ最佳ナリ、色黄ナル者アリ、稊ナリ、色白キ者

アリ、攝州尼崎ニテ、シロナンパント云フ、味劣レリ、黄ト紫ト雜ル者アリ、又黄ニシテ大粒ナル者

アリ、コレハ苗モ亦長大ナリ、

〔成形圖說十九〕豆黍此ものい子粒大豆の如なれば

珠黍多識 唐諸越本朝食鑑 薩麻黍是甘諸南瓜のごとく、其始て中國に致せるを以て、本藩鹿

蜀黍は本おのづから斯邦一種 薩麻黍兒島にては唐黍といふ、今蜀黍を呼て唐黍とせるは誤也

此もの三種あり、或云舶來のものにて、固蠻産に係れり、二月に蒔植て七八月熟ぬ、子の色に紫赤

と白黄あり、紫赤なるは黏り、黄白はねばらず、炒折セとなすには、紫赤を佳とす、此もの苞より頭鬚

と白黄あり、紫赤なるは黏り、黄白はねばらず、炒折セとなすには、紫赤を佳とす、此もの苞より頭鬚